

7月のイベントカレンダー

日	曜日	行事予定
1	金	
2	土	
3	日	休館日
4	月	休館日
5	火	13:30 日本語サロン
6	水	◆13:30 ドイツ語クラス
7	木	
8	金	
9	土	14:00 紋切り遊びでうちわを作ろう
10	日	10:00 子ども日本語ひろば
11	月	休館日
12	火	13:30 日本語サロン
13	水	◆13:30 ドイツ語クラス
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	休館日
18	月	休館日
19	火	13:30 日本語サロン
20	水	◆13:30 ドイツ語クラス
21	木	
22	金	
23	土	10:00 英会話サークルFIND 15:00 ユニシップ テニス
24	日	10:00 子ども日本語ひろば
25	月	休館日
26	火	13:30 日本語サロン
27	水	◆13:30 ドイツ語クラス
28	木	
29	金	
30	土	13:30 情報紙発送作業
31	日	

◆印は会員による自主サークル活動です。

七夕の短冊に、 願い事を書きに来ませんか？

協会事務所に七夕飾りを設置します。七夕行事は久しぶりだという方も、今年は願い事を書きに来ませんか？7月中旬くらいまで飾っています



福島県内の学生対象 人材育成プロジェクト Color us project: CORE1 @ ぶくしま

国際人として活躍できる人材を育成する新しいプロジェクトです。福島県内の高校生、専門学校生、大学生、留学生が対象です。詳しくは福島県国際交流協会のWebサイトをご覧ください。

期 間 令和4年8月から1年間
場 所 福島県国際交流協会ほか、国内外研修あり
日 時 毎月第一／第四 土曜日13:30～15:00
(対面およびオンラインを活用したハイブリッドスタイル)
受講料 無料(一部有料)
申込み 7月11日(月)15:00(時間厳守)
問合せ 福島県国際交流協会 人材育成プロジェクト
Tel 024-524-1315(火曜日～土曜日 9:00～17:00)

会津国際子育てサロン

外国出身の方も、移住してきた方も、地元の方も一緒に子育ての情報を交換したり、おしゃべりを楽しむサロンです。今回は子育て支援・地域交流スペース「アイアイプラス」さんをお借りして集まります。必要ならば通訳を手配します。外国出身で子育て中の方にぜひ、ご周知ください。



日 時 8月7日(日)10:00～12:00
場 所 アイアイプラス(一箕町亀賀字北柳原45-1
白梅幼稚園アイアイキッズクラブ隣)
参加費 無料 ※駐車場有
申込み 8月5日(金)までに協会へ

メール申込み
QRコードも
ご利用下さい



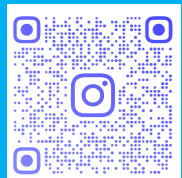
情報紙発送ボランティア

情報紙の袋づめなどの簡単なお手伝いに参加してみませんか？1時間半くらいで終わります。予約はいりません。参加してみたい方は、どなたでもお気軽にお越しください。

日 時 7月30日(土)13:30～ 場 所 当協会



★国際交流スポーツサークルUnishipの活動は、7月23日(土)に硬式テニスを行います。詳しくはインスタでお知らせします。



AWIA_PHOTO

<http://facebook.com/awiajp>



イベントの最新情報をお届けします！



メール申込み用
QRコード



会津若松市
国際交流協会
〒965-0871
会津若松市栄町2-14
リオン・ドールガーデン5階
TEL: 0242-27-3703
<http://awia.jp>
メール: mail@awia.jp

第313号 2022年7月号

会津若松市国際交流協会 情報紙

FINE

Freedom/International/Necessity/Experience

日本文化ワークショップ

紋切り遊びでうちわを作ろう

「紋(もん)切り」は江戸時代に流行した切り紙遊びです。紙を小さく折って型紙通りに切り、そっと開くと美しい「紋=かたち」が現れます。かつて日本人は暮らしの中で「紋」を使い、楽しんできました。今回は武藤紙店さんにご協力いただき、紋切り遊びでうちわを作ります。今夏はぜひ手作りのうちわでSDGsな納涼を楽しみませんか？



日 時 7月9日(土)
①14:00～ ②15:00～
場 所 協会事務所
協 力 武藤紙店
定 員 ①、②各回10名
参加費 100円(非会員200円)
持ち物 はさみ(協会にもあります)
申込み 7月8日(金)まで
(空があれば当日参加もできます)



メール申込み
QRコードも
ご利用下さい

ハローワールド

遊びから世界を学ぼう！ハローワールドクラブ夏休み編

子どもたちに楽しい体験を通して海外への興味を育ててほしい、それがハローワールドクラブの目的です。“夏休み編”では国際交流員と一緒に、その国の子どもたちなら誰でも知っている遊びを体験しながら、異文化や英会話に親しみます。



日 時 8月6日(土)
①9:30～10:30(小学1～3年)
②11:00～12:30(小学4～6年)
場 所 会津稽古堂研修室1
講 師 当協会国際交流員 トウール ヒーターシュ
定 員 各回15名
参加費 500円/1人(親が会員の場合は200円)
申込み 8月5日(金)までに当協会へ



英会話

会津で世界と会話しよう！英会話サークルFIND

グループでのフリートークやゲームを通じて、楽しく英会話を練習するサークルです。英語のレベルは問いません。世代もさまざま、国籍もさまざまな仲間たちと出会える場です。初めての方、大歓迎！

日 時 7月23日(土) 10:00～11:30
場 所 会津稽古堂研修室1 定 員 20名
対 象 どなたでも 参加費 無料
申込み 7月22日(金)までに当協会へ

国際交流フェスティバル2022 開催決定！

お待たせいたしました！第20回の国際交流フェスティバルの開催が決定しました。前回の2018年以来、4年ぶりの開催です。懐かしい笑顔に会えるでしょう！新たな出会いがあるでしょう！今後の情報紙やSNSで、詳しいイベント内容や当日のボランティア募集等をお知らせします。

10月9日(日)
開催 10:00～15:00
場所 鶴ヶ城体育館



★開催予告

「シャーロック・ホームズ原書読書会(仮題)」の開催を8月後半から予定しております。英語の学習もかねて、原書で文学作品を読んでみませんか？詳しくは来月号の案内をお待ちください。

こんにちは事務局です

会長 竹田 秀（前会長）
 副会長 福西 依子（前副会長）
 副会長 武藤 周一（前副会長）

≪理事≫※順不同

山口 大輔（(公社)会津青年会議所）、梁田 光年（福島県中小企業家同友会会津地区）、鈴木 優太（連合福島会津若松地区連合会）、森 武（会津若松葵ライオンズクラブ）、大島 寅次郎（会津若松ロータリークラブ）、佐藤 光一（会津若松観光ビューロー）、馬場 和廣（会津ユネスコ協会）、古川 善郎（会津若松市日中友好協会）、山内 和昭（会津大学）、手代木 トロイ（英会話講師）、長谷川 浩文（会津若松市立小中学校長協議会（第三中学校））、猪俣 建二（会津若松市副市長）、若林 美代（広報ボランティア）、鈴木 聡子（語学ボランティア）、酒井 雅司（サポーターズボランティア）、青山 孝男（日本語ボランティア）、金 仁淑（文化紹介ボランティア）

≪監事≫※順不同

齋藤 共子（(公社)会津若松法人会）、稲生 豊彦（会津若松市会計管理者）

≪幹事≫※順不同

代表幹事 青山 孝男

【広報ボランティア】宮下 はるみ、若林 美代 【語学ボランティア】二宮 ゆかり、若林 達司

【サポーターズボランティア】木村 貴華子、浅野 梨子 【日本語ボランティア】青山 孝男、小原 孝子

【文化紹介ボランティア】メアリートリック バートン、ヒテーシュ トゥール

【ホストファミリーボランティア】小坂橋 友里、関澤 一幸

記念講演会ではジョシィーさんから提案が！「みんなが交流できる場を」

総会後の記念講演会では「地域のための医療通訳～おかえりジョシィーさん」と題して、竹田総合病院の医療通訳、長谷川ジョシィーさんにお話しをいただきました。協会設立当時から、さまざまな活動を通じて地域の多文化共生に貢献してきたジョシィーさんのお話を聞こうと、47名の方が駆け付けました。「30年前、会津に来た頃の私は、珍しい“外人”だったけれど、今は病院で働く私を見て誰も驚きません。私は名前と呼ばれる人になりました」とおっしゃっていたのが印象的でした。

日々、さまざまな方と接しているジョシィーさんがいつも思うのは、人間はやはりコミュニケーションが一番大事なことだそうです。「いろいろな違いは関係なく、日本人、外国人、誰もが気楽に立ち寄れる“ふれあいサロン”を作ってほしい」という提案に、会場からは大きな拍手が送られました。講演の詳しい内容は、3面（右）にまとめましたのでご覧ください。

ようこそ 国際ふれあいサロン?へ

現在、会津若松市には47カ国814人の外国籍の方が住んでいます（令和4年3月末日現在）。地域の多文化交流を促進する国際交流協会として、協会では普段から外国の方、日本の方、誰もが立ち寄って相互交流できる場を提供しております。イベントが無い日なら会員さん同士でも、一人でも、協会の事務所スペースを自由にご利用いただけます。

最近、ふらりと立ち寄ってくれる方が増えてきました。「誰かいるかなあとあって」と顔を出してくれる方や、ベビーカーを押してお散歩ついでに立ち寄ってくれる親子さんもうらっしゃいます。「場所がわかりにくいし、5階だし」という声もありますが、天気良ければ磐梯山も見える眺望です。図書コーナーの本をのんびり読むのもよいでしょう。スタッフはいつもバタバタしておりますが、どうかお気になさらずに、ぜひご活用ください。

当協会の役員、幹事を
 ご紹介します。



駆け付けたピーターさんと翻訳機の実演。スロバキア語→日本語



カーペットスペースは小さいお子さんに人気です。

6月4日(土) 記念講演会まとめ「地域のための医療通訳／長谷川ジョシィーさん」

講演の打ち合わせで竹田総合病院にジョシィーさんを訪ねたときのことです。ジョシィーさんと普通に話していた外国人男性の目から涙がこぼれるのを見ました。奥さんが入院中で緊張していたそうです。ジョシィーさんの相手への理解や気遣い、思いやりの神髄を見た気がしました。少なすぎる紙面ですが下記に記念講演会の内容をまとめさせていただきます。

地域を支える医療通訳者、長谷川ジョシィーさんの願い「みんなが交流できる場を！」

■メキシコ生まれの私がなぜ日本へ？

小学生の時に姉の心臓病のドナーを見つけるために、家族でアメリカのオレゴン州に移住しました。オレゴン州の日本の会社(富士通)で主人と知り合い、アメリカで結婚後、日本に来て、会津で暮らし始めました。

■竹田総合病院でスペイン語と英語の医療通訳者として地域医療に貢献(1998年～2004年)。協会の活動にも！

会津に来た当初は日本語があまりわからず、自分が無力に思えました。悔しくて日本語の勉強を頑張りました。

平成5年に会津大学とFASL(富士通AMD半導体株式会社)ができました。外国人が増え、医療現場では通訳が必要になりました。私は平成10年から医療通訳として働き始め、病院の案内やパンフレットの診療科の和英につとめました。他にも同意書や説明書などの翻訳、職員や看護学校の英会話教室、外国人患者とのコミュニケーションレッスンなども行いました。私のアイデアをどんどん取り入れてくださった竹田総合病院には、とても感謝しています。この頃の経験は私にとって大きな財産となり、後に東京でも役に立ちました。

■家族で東京へ引っ越し。大使館へのオファーを受ける

会津で医療通訳者としての基盤や人脈が整い、ますます頑張ろうしていた矢先に、夫が東京へ異動になりました。せっかくの経験を活かせるようにと、三つの病院を紹介していただき、2004年から2006年、船橋整形外科で働きました。そこには、騎手や力士など、外国出身のスポーツ選手や著名人が多く訪れました。そこでアルゼンチン大使と出会い、「あなたのような医療機関勤務をしていた方が大使館スタッフとして働いてくれると非常に心強いし、そういう方を探していました。ぜひ、スタッフとして一緒に働いてください」とオファーを受けて働くことになりました。

■アルゼンチン共和国大使館にて(2006年～2019年)緊張の連続で、出会いと経験に恵まれた日々

在任期間で3人の大使をアシストし、外交官たちやその奥様の医療通訳やセレモニーの通訳など、様々なことを行いました。私は英語とスペイン語、そして日本語ができたので大変重宝されました。本国からマクリー大統領が訪日したときは、オペできる救急車を用意して、本国からの医療スタッフと一緒に私も乗り込み、いつでも出動できるように待機しました。



オペできる救急車の中で

■福島の復興を世界へ伝えたい。2019ラグビーW杯で、アルゼンチン代表チームをJヴィレッジに呼ぼう！

2019年9月から11月まで日本で開催されていたラグビーワールドカップでは、多くの県からホームキャンプのオファーがありました。私は、Jヴィレッジにアルゼンチン代表チームを招いて、福島の復興の様子を世界に伝えたいと思い、毎日放射線量データを東京電力から取り寄せ、翻訳し福島県の協力を得て本国に送りました。アルゼンチン大使も福島の復興を願って応援してくれました。その結果努力が実り、Jヴィレッジがアルゼンチン代表チームのキャンプ地となりました。代表チームは現地で大歓迎をうけ、2002年のサッカーW杯の時のように福島がアルゼンチン色にそまりました。

■新聞記者が私のことを覚えていて、「竹田総合病院にいた長谷川ジョシィーさんですね」と

Jヴィレッジで内堀知事とアルゼンチン大使の会談の通訳をしているときに、一人の新聞記者に声をかけられました。「私は会津であなたの取材をしたことがある」と。こんなに長く福島を離れていたのに、私のことを覚えてくれた人がいると、とても感動しました。会津に帰りたいという気持ちが抑えられなくなり、その年の冬に会津に帰りました。

■第二のふるさと会津で再び地域の医療通訳者として誰もが安心して暮らせる地域づくりのために！

竹田総合病院の職員数は2,183人で、そのうち外国人通訳は2名です。2021年10月から22年3月までの6カ月間に対応した外国人患者の数は、延べ人数で22カ国410人にのぼります。病気には国籍も性別も年齢も関係ありません。みんな同じ人間ですから。

私がいる「まるごと相談室」に来られる患者さんは、日本人、外国人に限らずさまざまです。何か「困ったなあ」と悩んでいることがあれば「まるごと」お聞きし、解決するお手伝いをしています。震災やコロナで多くの方が辛い思いをしました。みんな誰かと話したいし、話を聞いてほしいと思っています。誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、“誰でもが気楽に来て、自由に話ができる交流の場”が必要です。協会がそういう“場”であってほしいと思います。そこに行けば、誰もが地球市民として交流できる、そんな会津若松市国際交流協会になりますように心から祈っております。

